

許されざる者 (1959)

THE UNFORGIVEN

メディア 映画

ジャンル 西部劇 ロマン스

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 120分

初公開日 1960/10/06

公開情報 U A

映倫 G

【解説】

J・ヒューストンの文学趣味が出た風変わりな、彼の最初のウエスタンで、世間的には失敗作の烙印を押されているが、いろいろと解釈の余地のある魅力的な作品だ。テキサスの平原で営む牧場がやっと軌道に乗り始めたザカリー一家の長男ベンは、周囲の信望も厚く、いよいよ今迄でも最大規模のキャトル・ドライブに出ようという矢先、妹レイチェルの出生をめぐっての悪い噂が立ち困惑した。その主はかつては彼の父のパートナーだった老人ケルシー。妹が養女であるのは確かだが、カイオワに殺された移民一家の生き残りとして、亡父からは聞かされていた。それをケルシーは、彼女はカイオワから奪った娘でやがてその報いがあるだろうと、不気味な予言をし、ベンの仲間たちも怒って老人を吊るし上げるのだが、彼は真相を知るザカリー一家の母を冷たい目で見つめるのだった……。そして、一家は孤立し、レイチェル奪還に現われたカイオワたちと死闘を繰り広げることになる。オードリーのインディアン娘も素敵だが、脇役の充実には目を見張り、ことに、インディアンとの混血でベンを助けるポルトガルという役を演じるJ・サクソンが、三頭の馬を乗り継いで（それはスタントだろうが）カイオワの斥候を捕らえる追走シーンなど新鮮で、印象に残る。敵の呪いのダンスに対抗してL・ギッシュの母が荒野でピアノを弾く場面、長い軍刀を腰に下げ馬にまたがるケルシーをまるで幽霊のように描く所など、ヒューストン好みの奇矯なイメージに満ち、籠城する小屋に自ら火を放って応戦するクライマックスも迫力たっぷりの充実作だ。

【クレジット】

監督	ジョン・ヒューストン	John Huston	
製作	ジェームズ・ヒル	James Hill	
原作	アラン・ルメイ	Alan LeMay	
脚本	ベン・マドロー	Ben Maddow	
撮影	フランツ・プラナー	Franz Planer	
編集	ラッセル・ロイド	Russell Lloyd	
音楽	ディミトリ・ティオムキン	Dimitri Tiomkin	
出演	バート・ランカスター	Burt Lancaster	ベン・ザカリー
	オードリー・ヘプバーン	Audrey Hepburn	レイチェル・ザカリー
	オーディ・マーフィ	Audie Murphy	キャッシュ・ザカリー
	リリアン・ギッシュ	Lillian Gish	マチルダ・ザカリー
	ジョン・サクソン	John Saxon	ジョニー・ポルトガル
	チャールズ・ビックフォード	Charles Bickford	ゼブ・ローリンズ
	アルバート・サルミ	Albert Salmi	チャーリー・ローリンズ
	ジョセフ・ワイズマン	Joseph Wiseman	エイブ・ケルシー

ダグ・マクルーア

ジューン・ウォーカー

キップ・ハミルトン

カルロス・リヴァス

Doug McClure

June Walker

Kipp Hamilton

Carlos Rivas

アンディ・ザカリー

ヘイガー・ローリンズ

ジョージア・ローリンズ